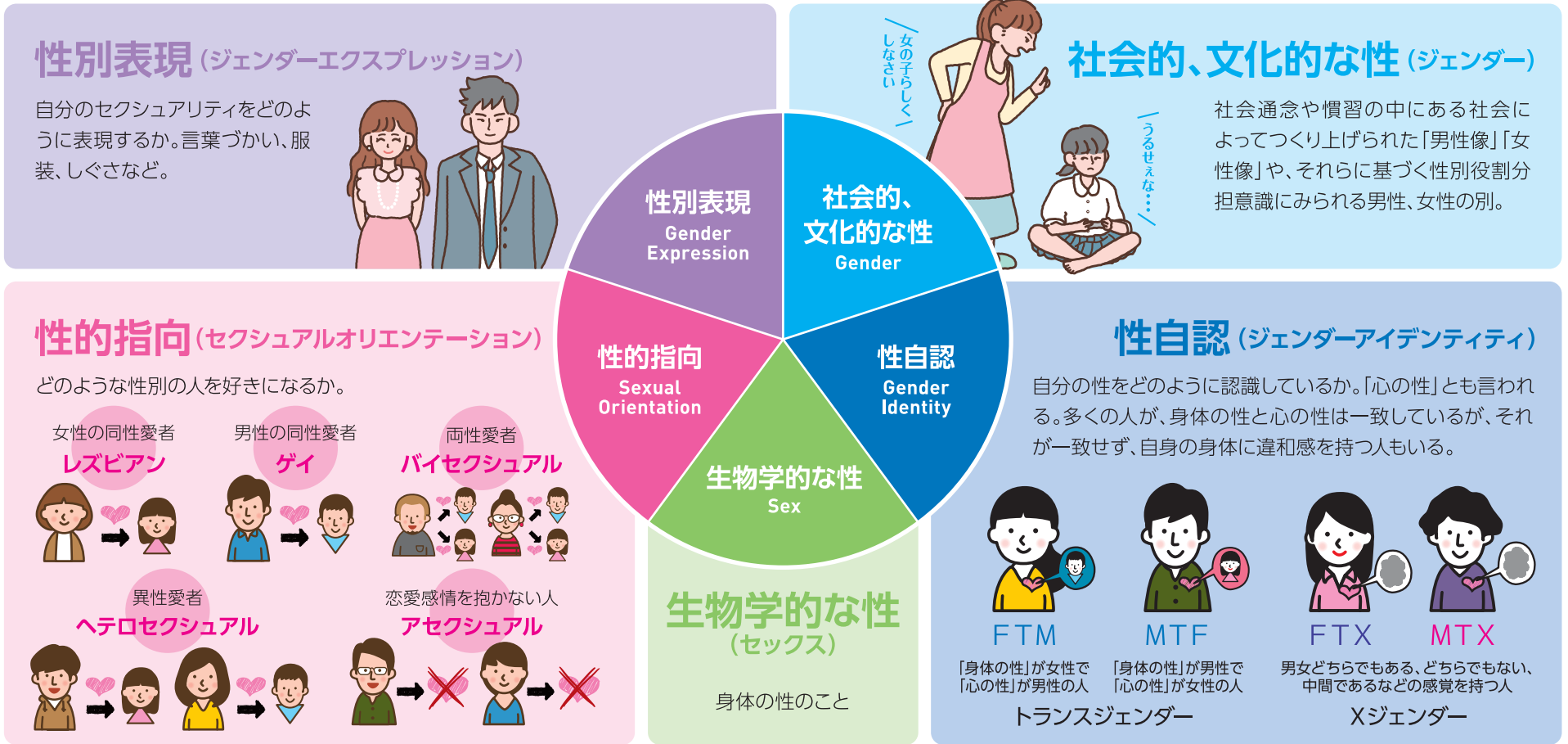


知ってください 性の多様性について

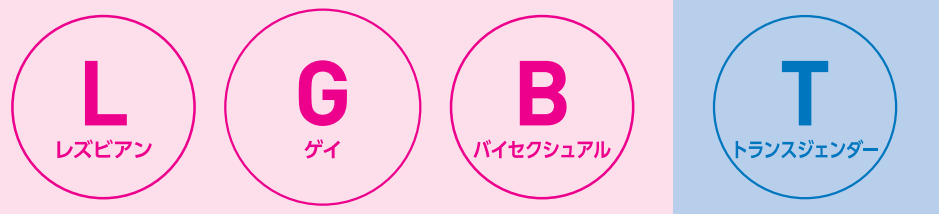
ここでは、一人ひとりの「性の在り方」をセクシュアリティと表現します。セクシュアリティは、次の5つの要素から広く捉えることができます。



最近まで、世の中には「男性」と「女性」の2つの性別しかないと認識されてきました。また、性自認や性的指向、性別表現などについて、嫌悪感をあらわにされたり、笑いのネタにされたりするなどネガティブに表現されてきました。

姿、価値観、感情などが人によって違うように、人間の性も2つのパターンに分けられるほど単純なものではありません。セクシュアリティは多様であり、個人の尊厳に関わる大切な問題です。

LGBTは、次の頭文字をとって組み合わせた言葉で、性的マイノリティを表す言葉の一つとして使われることもあります。



※LGBT以外にも、男女どちらにも恋愛感情を抱かない人や、自分自身の性を決められない人など、様々な人がいます。

性的マイノリティの人たちからのメッセージ

Aさん

学生の時はまだ、自分自身の混乱に折り合いがつかない場合があります。(自分はFTMかもしれない、でもそうじゃないかもしれない、そう自分で認めてしまったらもう変態と周りから言われるかもしれない) どのような選択をとって生きていきたいかは自分自身と向き合うしかありません。その時に少しでも話しを聞いてくださる方が近くにいたらすごく心強いです。周りが答えを出させてあげよう。楽しんであげようとする関わりではなく、個人個人のしたい生き方をそっと隣で聞いてあげてほしいと思います。

H27年度「主に岡山県内の性的マイノリティを対象とした学校生活に関するアンケート調査報告書—岡山市市民協働推進ニース調査事業—」プライド岡山より

Bさん

生徒に当事者がいた場合の対処や配慮についていろいろ考えることも大切ですが、カミングアウトができない当事者の生徒が、学校には必ずいるということのを頭の片隅でもいいので留めておいてほしいです。近年では学校でセクシュアルマイノリティについての講演会などが実施されることが増えてきました。どうかそれが「当事者探し」につながることなく、セクシュアリティに限らず、いろんな「個性」を大切にしたい意識を持つための契機となることを期待しています。

あなたができること

差別的な発言をしている人を見かけたら…



「そういうの、よくないよ」と勇気を持って指摘することが大切です。

打ち明けられたら…



打ち明けられたということは、あなたを信頼しているというメッセージです。まずは、しっかりとその人の話に耳を傾けましょう。

本人の了承なく、その人のセクシュアリティについて、他人に話してしまうこと(アウティング)は、その人の尊厳を傷付ける人権侵害です。

高校生も関心を持っています



令和元年12月の高校生議会では、性的マイノリティへの配慮として制服を見直した岡山芳泉高校の生徒が、県が学校教育の中で性的マイノリティに対してどのような取組を行っているか、質問しました。

相談
窓口

岡山県青少年総合相談センター
TEL.086-224-7110

岡山地方法務局 みんなの人権110番
TEL.0570-003-110

よりそいホットライン
TEL.0120-279-338 (無料)